XⅣ. 子どもと家族の支援チーム

子どもと家族の支援チームは、子ども虐待に対して組織的に子どもへの安全をより確実に担保し、支援につなげることを目的として発足し、2019年度から院内公式チームとして活動している。

メンバーは医師、看護師(救急看護認定看護師、新生児集中ケア認定看護師、小児看護専門看護師含む)、ソーシャルワーカー、公認心理師等で、小児科だけではなく救命救急センターや精神科神経科など、多領域・多職種で構成されている。

主な活動は支援の必要な小児患者さんや家族への直接対応、関係機関との連携・相談対応であるが、スクリーニング機能強化のために2020年4月より当院独自の「気がかりシート」を作成し、改訂を行いながら使用している。またこれらの子ども虐待対応関連の書類をまとめたファイルをすべての病棟に配布した。なお、2022年度の診療報酬改定により、当チームの活動が養育支援体制加算として評価されるようになった。　今後はチームの活動や「気がかりシート」の活用についてさらに周知を図り、医療従事者からの相談対応や子どもへの支援に関するスタッフ教育を進めていく方針である。

XⅣ-1　チーム活動の実際（直接対応）

活動	件数
気がかりシート提出数	1,045
チーム対応した事例	5
市との情報共有	5
児相への通告件数	2
要保護児童対策協議会	2

XⅣ-2　チーム活動の実際（会議・研修会等）

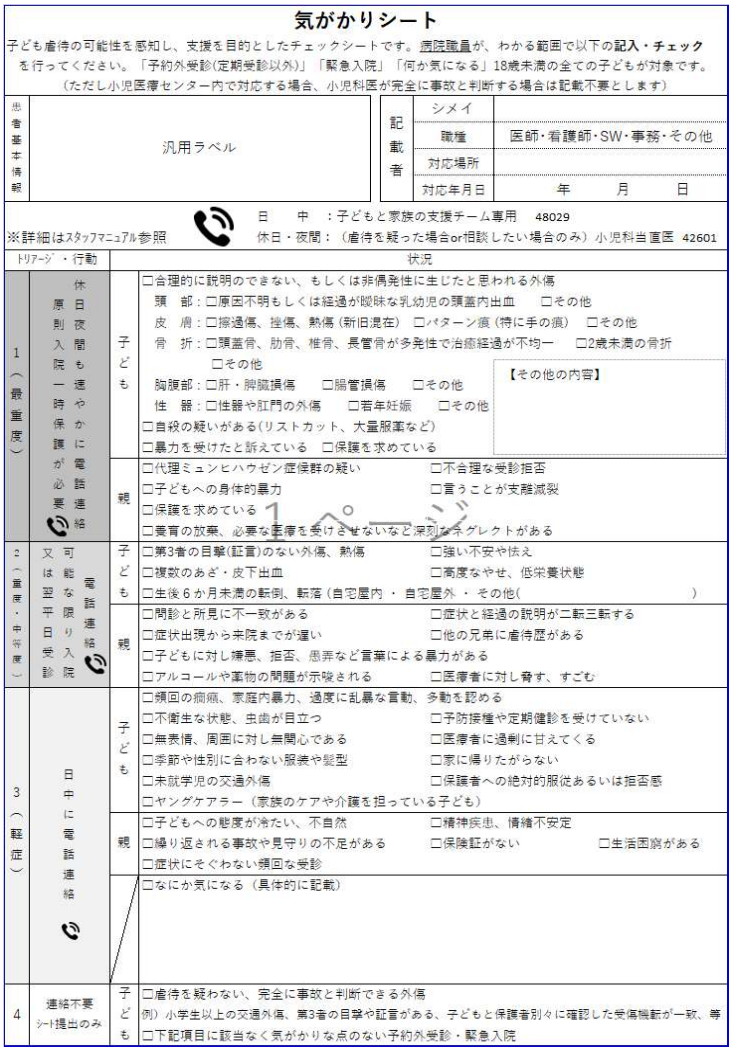
活動内容	件数
定例会議(毎月開催)	11
小児科abuseカンファレンス(事例検討)	6
日本子ども虐待医学会	1
日本子ども虐待防止学会	1
RIFCR研修受講	1

XⅣ-3　チーム主催の研修会

①「こどもの安心・安全をつなぐために～命を守るための初期対応」
　日時：2025年12月18日
　講師：武庫川女子大学　浅井鈴子先生
　参加者：11名
②「けがで来院した小児の虐待の見分け方」
　日時：2026年2月25日17：30―18：30
　講師：尼崎総合医療センター小児科　毎原敏郎先生
　参加人数：37名

XⅣ-4　気がかりシートの紹介

2024年7月に改訂しました。職員の方は誰でも記入していただけます。誰の許可もいりません。しんどい状況の子どもの支援につながるかもしれませんので遠慮なくご連絡ください。



気がかりシート

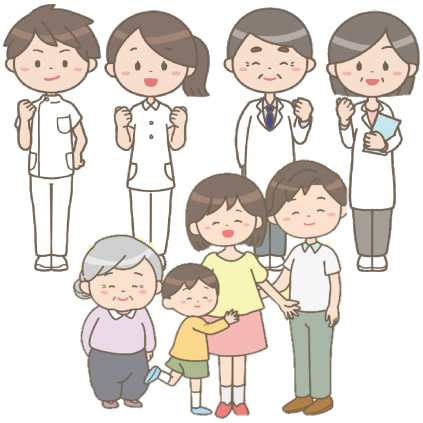
子ども虐待の可能性を感知し、支援を目的としたチェックシートです。病院職員が、わかる範囲で以下の**記入・チェック**を行ってください。「予約外受診(定期受診以外)」「緊急入院」「何か気になる」18歳未満の全ての子どもが対象です。
（ただし小児医療センター内で対応する場合、小児科医が完全に事故と判断する場合は記載不要とします）

患者基本情報	汎用ラベル	記載者	シメイ	
			職種	医師・看護師・SW・事務・その他
			対応場所	
			対応年月日	年　月　日

※詳細はスタッフマニュアル参照　日　中　：子どもと家族の支援チーム専用　48029
休日・夜間：（虐待を疑った場合or相談したい場合のみ）小児科当直医　42601

トリアージ・行動			状況
1（最重度）	休日夜間も速やかに電話連絡 原則入院一時保護が必要	子ども	□合理的に説明のできない、もしくは非偶発性に生じたと思われる外傷 頭　部：□原因不明もしくは経過が曖昧な乳幼児の頭蓋内出血　□その他 皮　膚：□擦過傷、挫傷、熱傷（新旧混在）　□パターン痕（特に手の痕）　□その他 骨　折：□頭蓋骨、肋骨、椎骨、長管骨が多発性で治癒経過が不均一　□2歳未満の骨折　□その他 胸腹部：□肝・脾臓損傷　□腸管損傷　□その他 性　器：□性器や肛門の外傷　□若年妊娠　□その他 □自殺の疑いがある(リストカット、大量服薬など) □暴力を受けたと訴えている　□保護を求めている 【その他の内容】
		親	□代理ミュンヒハウゼン症候群の疑い　□不合理な受診拒否 □子どもへの身体的暴力　□言うことが支離滅裂 □保護を求めている □養育の放棄、必要な医療を受けさせないなど深刻なネグレクトがある
2（重度・中等度）	可能な限り入院 又は翌平日受診 電話連絡	子ども	□第3者の目撃(証言)のない外傷、熱傷　□強い不安や怯え □複数のあざ・皮下出血　□高度なやせ、低栄養状態 □生後6か月未満の転倒、転落（自宅屋内 ・ 自宅屋外 ・ その他(　　)
		親	□問診と所見に不一致がある　□症状と経過の説明が二転三転する □症状出現から来院までが遅い　□他の兄弟に虐待歴がある □子どもに対し嫌悪、拒否、愚弄など言葉による暴力がある □アルコールや薬物の問題が示唆される　□医療者に対し脅す、すごむ
3（軽症）	日中に電話連絡	子ども	□頻回の癇癪、家庭内暴力、過度に乱暴な言動、多動を認める □不衛生な状態、虫歯が目立つ　□予防接種や定期健診を受けていない □無表情、周囲に対し無関心である　□医療者に過剰に甘えてくる □季節や性別に合わない服装や髪型　□家に帰りたがらない □未就学児の交通外傷　□保護者への絶対的服従あるいは拒否感 □ヤングケアラー（家族のケアや介護を担っている子ども）
		親	□子どもへの態度が冷たい、不自然　□精神疾患、情緒不安定 □繰り返される事故や見守りの不足がある　□保険証がない　□生活困窮がある □症状にそぐわない頻回な受診
			□なにか気になる（具体的に記載）
4	連絡不要 シート提出のみ	子ども	□虐待を疑わない、完全に事故と判断できる外傷 例）小学生以上の交通外傷、第3者の目撃や証言がある、子どもと保護者別々に確認した受傷機転が一致、等 □下記項目に該当なく気がかりな点のない予約外受診・緊急入院

1ページ

XⅣ-5　チーム代表より一言(宇都宮 剛)

安全な環境を確保するために支援の必要なお子さんやその家族に対して多職種で対応していきます。何か気になるお子さんやその家族の方がいらっしゃればご相談ください。よろしくお願いします。